

## □ 要請番号 (JL51518A31)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	G159 数学教育		個別	交替 2代目	2年	・2018/4 ・2019/1

### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

#### 2) 配属機関名 (日本語)

カンジャ初等学校

#### 3) 任地 (カンジャ) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約3.0時間)

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はケニア山の麓に位置する通学制の公立初等学校で、1956年に設立された。日本の小学校1年から中学校2年に相当する8学年が在籍しており、幼稚園を併設している。教員数は19名、児童数は約660名(1クラスは40-50名、男女比1:1)。地域では比較的大規模校である。周辺は茶の栽培が盛んな地域で、農村地帯であるが比較的人口が多い。初等教育修了の統一試験の同校の成績は、地域70校中では中位に位置している。年間予算は約130万円。2013年1月-2015年11月までJV(青年海外協力隊: 理数科教師/平成24年度3次隊)が派遣されていた。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

ケニアでは2003年に初等教育が無償化され、就学率は高まったものの、学習環境の整備や教員の養成は不十分で、教育の質については課題が残されている。配属先でも理系教科を指導できる教員が不足している。また授業内容は説明中心で、児童の理解が進まないという問題を抱えている。前任者は、補助教材等を使ったり、演習を増やしたりして、実践的で分かりやすく生徒が興味を持てる授業を行った。また生徒の個別の理解度に考慮した指導を心がけた。これらを配属先校長は高く評価しているが、同僚の教員が実践するには至っていないため、引き続きJVの要請に至った。

#### 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 4-7年生(日本の小4から中1相当)の生徒に対し、生徒主体で学び合う数学の授業を実施する。(内容は日本の小学校と同等レベル。)
- 朝、放課後、週末などに行われる補講を、可能な範囲で担当する。
- 同僚教員と互いの授業の見学や、意見交換を通し、同僚と共に指導力の向上に努める。
- 放課後のクラブ活動を可能な範囲で担当する。子どもたちに運動を通じて身につく、チームワーク、集中力、規律を守る姿勢などを指導する。

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、黒板、サッカーボール、バレーボール

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

##### 【配属先同僚】

校長:女性、副校長:男性

教員:19名(35-59歳、教員免許所持、経験年数10-30年)

##### 【指導対象】

小学校4-7年生(日本の小学校4年生から中学校1年生相当)の男女

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

**【資格条件等】**

[免許]： ( )

[学歴]： ( ) 備考：

[性別]： ( ) 備考：

[経験]： (指導経験) 3年以上 備考：即戦力が求められる

[参考情報]：

・教員免許(校種・教科問わず)

**任地での乗物利用の必要性**

不要

**【地域概況】**

[気候]： (サバナ気候) 気温： (10～25℃位)

[電気]： (不安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (不安定)

**【特記事項】**

JICAの判断により、訓練言語を「生活使用言語」に変更する場合がある。